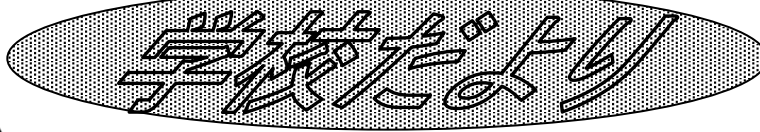
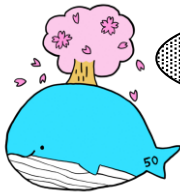


5月号 光あふれる西柴



令和8年4月30日
横浜市立西柴小学校
横浜市金沢区西柴 4-23-1
TEL 045-783-1182
校長 永島 典子

e-mail y3nisisi@edu.city.yokohama.jp
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishishiba>

「秒速50cm」

校長 永島 典子

新緑がまぶしい季節になりました。校庭を吹き抜ける風のやわらかさに、子どもたちの表情もどこかほっとした明るさを帯びてきています。4月の1か月間、子どもたちは新しい環境の中で本当によくがんばっていました。緊張や期待が入り混じる日々の中で、友だちとの関係を築き、学習のリズムをつかみ、少しずつ「今年の自分」を形づくっているところです。

先日の「1年生を迎える会」では、上級生の優しさが体育館いっぱいに広がりました。1年生の小さな手をそっと引く姿、工夫を凝らした西柴3択クイズ、温かいメッセージとプレゼント。どれも子どもたち自身が“誰かのために動く喜び”を感じている証でした。1年生の少し緊張した表情も、上級生のやさしい声かけでだんだんとほぐれていく姿に、西柴小学校らしい“ふれあい”の文化を改めて感じました。また、学校という場が、人と人とのつながりの中で育っていくことも実感しました。



一方で、5月は「がんばりの疲れ」が出やすい時期でもあります。慣れてきたからこそ見えてくる不安や、気持ちの揺れ。学校では、子どもたちの小さな変化に気づき、安心して話せる時間を大切にしています。

「ちょっとしんどいな」

「なんだかうまくいかない」

そんな気持ちを抱えたときに、そっと寄り添える大人がいることが、子どもたちの大きな支えになります。

以前先輩に教えていただいたのですが、無風状態で桜の花びらが落ちる速度は、およそ秒速 50cm だそうです。ボタン雪が舞い降りる速さ、ホタルがふわりと飛ぶ速さ、そして私たちの大動脈を流れる血流の速さも、ほぼ同じ「秒速 50cm」。人と会話しながら歩くのに心地よい速度とも言われています。

桜、雪、ホタル…。自然の中でゆっくりと、はかなく、しかし確かに存在を示すものたちの動きを思い浮かべると、心がふっと緩むように感じます。「秒速 50cm」という自然のリズムには、生命の営みそのものを象徴するような、深い調和があるのかもしれない。

新年度は、子どもたちにとっても、保護者の皆様にとっても、そして私たち教職員にとっても、出会いと変化が重なる時期です。期待と緊張が入り混じり、心や体に疲れを覚えることもあるでしょう。そんな時こそ、歩みを少しゆるめて「秒速 50cm」を意識してみてもいいでしょうか。

学校は、子どもたちが自分らしいリズムで学び、挑戦し、成長していく場所です。私たち教職員もまた、子どもたち一人ひとりの歩幅に寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

横浜市では、「第5期横浜市教育振興基本計画」をもとに、令和8年度から令和11年度までの学校教育の方向性を示しています。その中で、今年度から市内の小中学校で「チーム担任制」が取り入れられました。本校では今年度、学級数の少ない3年生に取り入れ、学年に共通の副担任を配置し、クラス担任をサポートする体制を整えました。担任と副担任が日頃から情報を共有しながら学級を支えることで、子どもたち一人ひとりに、より丁寧に寄り添っていきます。